

知的資産経営報告書

2013年版



株式会社 昭和螺旋管製作所



便利と安心のフレキシブル・カンパニー

はじめに

ごあいさつ

1947年の創業以来、市場のニーズへ向き合ってきた当社は、技術力を磨き、たゆみない研究開発に励むことで皆様の信頼を頂いております。

2013年は、新たに中期計画「GO! GO! Next Future! 55周年、節目の年、新しい未来へ」を設定しました。経営ビジョン「すべてにおいて顧客に価値を提供する“質でNo.1の経営”を追求し、新しい未来の土台をつくる」を推進します。

「価値の提供」とは100を使って101を創り出すことであり、新たに1をプラスするために、モノづくりは勿論、販売やマネジメント等、すべてにおいて“新しい価値の創造(=プラス1)”にこだわります。従来よりの「グローバル(グローバル+ローカル)経営」を推進するため、国内既存事業を深耕するとともに、海外事業展開および新規事業開発に力を入れます。

当社が一体感のあるチームとして成長するべく、私は「60%できると思ったら、即行動」という言葉を全員に言い聞かせています。思慮のない行動は慎むべきです。しかし、「100%成功する確証がないから動かない」。これではいつまでたっても成長はできないでしょう。失敗を続けても、壁を乗り越えることで人間は成長できます。社員がアグレッシブに行動することで成長し、世の中に貢献していく—— そのような会社を創り出していくことが私の使命です。



代表取締役社長 水上 浩次

代表取締役社長 水上 浩次



1. 会社データ

(1) 基本情報

会社名	株式会社 昭和螺旋管製作所
設立	1960年6月
代表者	代表取締役社長 水上 浩次
所在地	〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-26-10
電話番号	03-3967-5751(代)
ホームページ	http://www.showarasen.co.jp/index.html
事業内容	自動車関連製品、水道関連製品、変電・プラント用配管、消火関連製品、変電・プラント関連製品等の製造販売
資本金	30百万円
従業員数	158名(2013年1月期)
売上高	4,086百万円(2013年1月期)
営業所	浮間(営業部・技術部)、埼玉(技術部)、広島営業所、中部営業所、東北営業所
工場	埼玉工場、浮間工場、茨城工場
海外事業所	昭和国際科技股分有限公司

(2) 沿革

1947年10月	東京都板橋区にて創業する(当時の名称は作田螺旋管製作所)。
1955年 4月	東京都青梅市に青梅工場を新設する。
1956年 5月	東京都板橋区に編組工場を新設する。
1957年 8月	青梅工場にて継目螺旋管製作に着手する。
1960年 6月	株式会社昭和螺旋管製作所と改称し、法人組織に改組する。
1961年 8月	東京都板橋区に本社工場を新設する。
1965年 3月	本社工場に隣接して新工場を増築する。
1965年 6月	広島県広島市に広島営業所を設立する。
1968年 2月	広島県広島市に広島工場を新設する。
1972年 3月	東京都北区に浮間工場を新設する。
1991年 5月	茨城県水海道市に茨城工場を新設し、波状ステンレス管製造の量産体制に入る。
1996年12月	大阪市港区に関西営業所を設立する。
1997年 7月	浮間工場隣接地に設備を移転する。
2002年 7月	広島工場を閉鎖し、営業所とする。
2003年 6月	茨城工場が品質管理の国際規格ISO9001の認証を取得する。
2004年 9月	愛知県名古屋市に中部営業所を設立する。
2005年11月	拡大に伴い、本社を現住所に移転する。同月、埼玉県深谷市に埼玉工場を新設する。
2006年 1月	埼玉工場が品質管理の国際規格ISO9001の認証を取得する。
2007年12月	浮間工場が品質管理の国際規格ISO9001の認証を取得する。
2010年 3月	第13回(2009年度)板橋経営品質賞大賞を受賞する。
2011年 2月	社内カンパニー制を導入する。
2011年 6月	台湾に昭和国際科技股分有限公司を設立する。
2012年 6月	環境マネジメントの国際規格ISO14001の認証を取得する。

1. 会社データ

(3) ミッション・経営理念

MISSION

わたしたちは、世界中の人々の笑顔をイメージしながら、配管づくりを通じて、便利で安全に暮らせる社会をつくることに全力を尽くします。

経営理念

R 利便性を追求する ～ 独自能力 ～

「曲がるといいな、縮むといいな」は私たちのモノ造りの原点です。「窮屈で施工しにくい」「地震や熱から配管や機器を守りたい」という顧客の声にこたえるべく、施工性・耐久性に優れたペローズ(蛇腹)製品の開発に挑戦し続けます。

A 安心・安全を確保する ～ 社会貢献 ～

私たちの提供する製品は、水や電気を供給するライフラインを守っています。快適で暮らしやすい社会をつくるためには、「なくてはならない製品」なのです。社会の安心と安全に貢献できる喜びは、何ものにも代えられないThe Only Pride(ただ一つの誇り)です。

S 誠実に行動する ～ 社会貢献・顧客本位 ～

積み重ねた歴史は、嘘のない商売の証です。すべての人が心豊かに生きる社会を作りたい。そのためには、私たち自身が勇気を持って自分をさらけ出し、一点の曇りもない心で仕事をしなければなりません。

E 縁の下の力持ちに徹する ～ 顧客本位 ～

太陽がある限り、日の当たる場所と日の当たらない場所ができる。社会というステージでは表舞台で喝采を浴びる人がいれば、裏方で額に汗する人がいる。もし、どちらか一つを選ばなければならないなら、私たちは喜んで後者を選びます。それが私たちの幸せであり、誇りです。

N ぬくもりを大切に作る ～ 社員重視 ～

自分以外の誰かを幸せにしたい。そう考えた時にこみ上げてくる“あたたかい気持ち”を大切にします。そして、モノづくり、職場づくり、世の中づくりに、この“あたたかい気持ち”を込めます。ぬくもりこそ『RASENの志』の源なのです。

(4) 経営品質

受賞歴

- 2009年度 第13回 板橋経営品質賞 大賞
- 2008年度 第12回 板橋経営品質賞 奨励賞
- 2007年度 第11回 板橋経営品質賞 認定委員会特別賞

http://www.city.itabashi.tokyo.jp/c_kurashi/010/010709.html

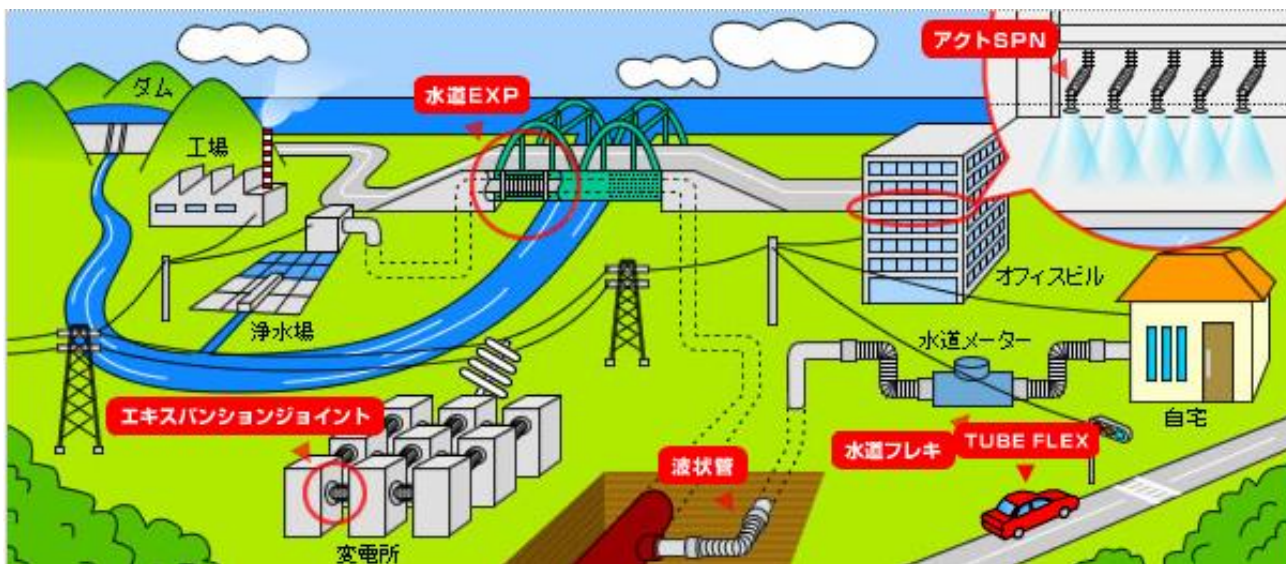


2. 事業内容と取扱製品の特徴

(1) 事業概要

便利と安心のフレキシブル・カンパニー

当社は、独自のペローズ(蛇腹)加工技術を活用し、「曲がったり」、「縮んだり」するフレキシブルな金属管(ペローズ製品)を製造しています。自動車、水道用配管、消火設備、変電・プラント設備など、世の中のあらゆるところに当社の製品が使用されています。



(2) 主力製品

自動車関連製品

地球にやさしく快適なカーライフをサポート

EGRパイプ

クリーンな排気と燃費向上

TUBE FLEX

エンジン振動による車の騒音吸収



水道関連製品

きれいでおいしい水の供給をサポート

アクトパイプ

(ステンレス波状管)

地中に埋設された水道管から住居内の水道メーター廻りまでを繋ぐステンレス配管。

手で簡単に曲げられ高耐食性



消火関連製品

高品質で施工しやすいスプリンクラー配管

アクトSPN

集合施設の天井内の配管元と各フロアの天井にあるスプリンクラーヘッドを繋ぐ配管

手で簡単に曲げられ、高耐食性



変電・プラント関連製品

変電設備・プラント設備の接続部を強力にフォロー

エキスパンションジョイント

振動、温度変化、地震等からの変電機器の接続部の保護

薄板溶接、バルジ成型等の技術による高度な気密性の実現



2. 事業内容と取扱製品の特徴

(3) 自動車関連事業

地球にやさしく快適なカーライフをサポート

自動車関連事業では、地球にやさしく快適なカーライフをサポートしています。クリーンな排気と燃費向上を実現する「EGRパイプ」、エンジン振動による車の騒音吸収を実現する「TUBE FLEX」などの自動車部品を生産し、お客様(自動車メーカーの一次サプライヤー)へ提供しています。また、自動車部品の生産設備を製作し、お客様の海外生産拠点へ納品しています。埼玉工場を中軸として、自動車関連事業を展開しています。

自動車関連製品

EGRパイプ ～クリーンな排気で地球にやさしく～

EGRパイプは、エンジン周りのパイプラインに使用されます。不完全燃焼ガスをエンジンの燃焼室に循環させ、排気をよりクリーンにします。排ガス規制の厳格化に伴い、EGRパイプが注目されています。また、パイプ本体を小型化することにより、エンジンルームの省スペース化を実現し、燃費効率の向上に貢献しています。



製品の特徴1:軽量化と省スペース化

薄肉管小R曲げ加工により、パイプ本体を小型化し、エンジンルームの省スペース化を実現することにより、軽量化による燃費効率の向上に貢献しています。

製品の特徴2:接続部の簡略化

ハイドロフォーム、バルジ成型といった高度技術を要する特殊成型により、省スペース化、接続部の簡略化を図り、コストメリットを実現しています。

生産面の特徴:アセンブリによる付加価値向上

EGRパイプのアセンブリを行い、付加価値を高めて、お客様に提供しています。

TUBE FLEX ～車の騒音を吸収し、快適なカーライフをサポート～

TUBE FLEXは、自動車のエンジンとマフラーとの間で使用されます。エンジンの振動・騒音を吸収し、静かでラグジュアリーな車内環境を実現します。



製品の特徴1:振動吸収で快適な車内空間を実現

エンジンから起こる様々な振動を3軸方向から吸収し、快適で静かな車内空間を実現します。

製品の特徴2:細密な技術による性能と安全性の向上

薄肉2層構造になっているため、短いサイズで大きな伸縮・振動を吸収できます。管と外管の多重構造による火災対策も施されており、外部への過度な熱放出もセーブできます。安全性も保証済みです。

生産面の特徴:試作から量産までの一貫生産

生産設備・治具製作を含め、試作から量産までの一貫生産を実現しています。試作から量産まで、お客様と共同で開発生産を行うことにより、お客様の要望に沿った品質・納期・コストを実現します。

生産設備の製作

お客様の海外生産拠点向けに、自動車関連製品の生産設備の製作を行っています。製作後、海外生産拠点での設置や取扱いの説明なども行っています。

2. 事業内容と取扱製品の特徴

事業領域とポジショニング（自動車関連事業）

自動車関連製品（国内向け）

国内のお客様（自動車メーカーの一次サプライヤー）向けに、EGRパイプやTUBE FLEXなどの自動車関連製品を生産しています。

試作から量産まで、お客様と共同で開発生産を行い、付加価値の向上に努めています。

生産設備（海外向け）

お客様の海外生産拠点向けに自動車関連製品の生産設備の製作を行っています。

製作後、海外生産拠点での設置や取扱いの説明なども行い、付加価値の向上に努めています。

	国内	海外
自動車関連製品		
生産設備		

埼玉工場

埼玉工場では、自動車関連製品などの試作から量産までの一貫生産を行っています。工場で稼働する生産設備の設計・加工・組立・メンテナンスまで自社で行っており、品質も徹底的に管理できるのが強みです。また、この強みを活かして、お客様の海外拠点における自動車関連製品の生産設備の製作も行っています。

工場概要

所在地 〒369-1104 埼玉県深谷市菅沼621

電話 048-578-2191(代)

F A X 048-583-7001

アクセス 電車：秩父鉄道明戸駅下車徒歩10分
車：関越自動車道花園 I. C. より15分

敷地 12,600 m²

建物 34,332 m²

従業員 70人（2013年4月現在）

認証 ISO9001およびISO14001認証取得



主な設備

バルジ成型機、ハイドロ成型機、パイプバンダー、ロボット溶接機、三次元測定器

2. 事業内容と取扱製品の特徴

(4) 水道関連事業

きれいでおいしい「快適な水」の供給

しなやかさと強さを持つステンレス配管は、ライフラインとしての水道管には最適です。当社は、様々なニーズに応えられるように、様々なステンレス配管(波状管、伸縮管、フレキシブルチューブなど)を取り揃え、きれいでおいしい「快適な水」を皆様に供給する役割の一端を担っています。

水道関連製品

アクトパイプ(ステンレス波状管) ～地中に埋設された水道管から住居内の水道メーター廻りまでの配管～

ステンレス波状管は、配管作業がしやすく、衛生的な水道用配管です。ステンレス製のため耐食性に優れ、ペローズ(蛇腹)加工を施しているため、手で曲げられ、漏水の心配が少ないのが特徴です。ステンレス波状管は、地中に埋設された水道管から住居内の水道メーター廻りまでの配管として、1982年から国内の多くの自治体で使用されています。2011年からは、台湾でも使用されるようになりました。



製品の特徴1:高耐久性と実績

ステンレス鋼SU316を主に使用しており高い耐食性を示します。赤水などの有害物質が融解することもなく、きれいで衛生的な水をお届けできます。

製品の特徴2:簡単・便利・軽量

ペローズ加工を施しているため、手で簡単に曲げられるのが特徴です。管自体が曲がるので配管作業効率が大幅にアップし、余分なねじ込み箇所がなくなるため、土中などでの漏水の心配を解消します。また、薄肉ステンレスのため軽量で丈夫です。このため、配管工事に適しています。

水道の漏水率低下に貢献(ステンレス波状管の特徴)

漏水解決方法	ステンレス波状管の特徴	使用後の結果
接合部(ネジ)の減少	波状加工部が曲がるため継手を大幅に削減	漏水箇所の削減
腐食しにくい材質の選定	耐食性に優れたステンレス鋼を使用	管路腐食の防止
長期使用可能な給水装置の選定	高耐久性に優れたステンレス鋼を使用	老朽化の防止

ステンレス波状管は、漏水や地震に強く施工性に優れます。耐久性や耐食性が高く、さらに、手や専用治具で簡単に曲げることができるため、漏水の弱点となる局部での継手を必要とせず、施工しやすく、施工不良も最小限に抑えられます。

生産面の特徴:

ステンレス波状管は日本水道規格および台湾の国際標準規格であるCNS(Chinese National Standards)に適合した規格品です。規格製品では、量産技術が重要になります。当社では、量産設備の設計、加工、組立、メンテナンスまでを自社で行っているのが強みです。バルブメーカー向けOEM生産が主体です。茨城工場および台湾の昭和国際科技股份有限公司でステンレス波状管の生産を行っています。

2. 事業内容と取扱製品の特徴

水道用伸縮管 ～水道管の取水口から各家庭の配管までの間に挿入して水道管を保護～

水道用伸縮管は、水道管の取水口から各家庭の配管までの間に挿入して水道管を保護します。国や自治体が要求するライフラインの保護に役立っています。



製品の特徴:

溶接一体構造のため気密性が高く、継手がないため漏れにくいのが特徴です。アクトパイプと異なり、大規模な水道工事に使用されます。自治体ごとに規格が異なります。

生産面の特徴

浮間工場で水道用伸縮管の生産を行っています。バルブメーカー向けOEM生産が主体です。

水道用フレキ(埋設用) ～水道メーター前で埋設部分から地面に立ち上げる箇所の配管器財～

主に水道メーター前で埋設部分から地面に立ち上げる箇所の配管器財に使用されるフレキシブルチューブ製品です。



製品の特徴:

ステンスチューブの特性として、狭い場所でも小さい曲りに対応でき、各管種との接続も容易です。施工・取り付けのしやすさがポイントです。製品は、ほぼ標準品扱いです。

生産面の特徴

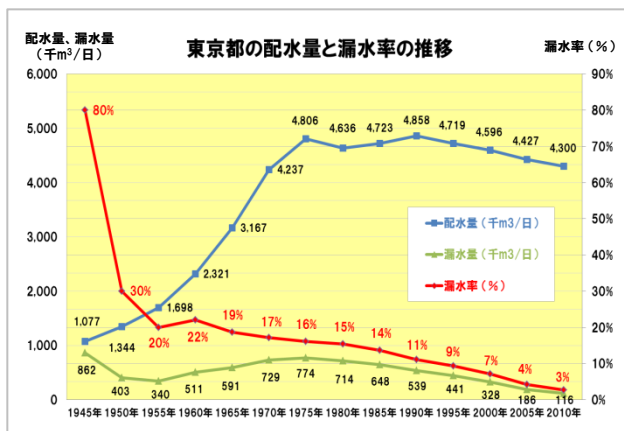
浮間工場で水道用フレキの生産を行っています。バルブメーカー向けOEM生産が主体です。

きれいでおいしい「快適な水」の供給(実績)

以上のように、当社は、様々なステンレス配管(波状管、伸縮管、フレキシブルチューブなど)を自治体などへ提供し、きれいでおいしい「快適な水」を皆様に供給する役割の一端を担ってきました。

例えば、東京都の「事業概要」によりますと、東京都は終戦直後には80%だった漏水率を、世界トップレベルの3%(2010年)にまで改善しました。

今後は、東京都などと連携し、これまで蓄積した技術やノウハウを活かして、台湾などアジア新興国をはじめとし、世界中の人々へ、きれいでおいしい「快適な水」を供給していきます。



出典: 東京都水道局「事業概要」

2. 事業内容と取扱製品の特徴

事業領域とポジショニング（水道関連事業）

ステンレス波状管（国内）

規格製品では量産技術が重要になるため、茨城工場では、量産設備の設計、加工、組立、メンテナンスまでを自社で行なっています。

ステンレス波状管（海外）

台湾に合併会社を設立し、生産を開始しました。現地生産を行うことにより、現地での入札が容易になり、低コスト生産が可能になりました。

水道用伸縮管・水道用フレキ（国内）

浮間工場で生産しています。自社での造管からの一貫生産が強みです。

	国内	海外
波状管	茨城工場 設備内製化	台湾合併 現地生産
伸縮管・フレキ	浮間工場	

海外展開

東京都水道局および東京水道サービス株式会社との公民連携

東京都水道局は、世界トップレベルである東京都の漏水率（3%）を実現したノウハウを活かして、まだ漏水率が高いアジア新興諸国への水供給のためのシステムの提供に公民連携で取り組んでいます。当社もこの公民連携に参画しています。

昭和国際科技股份有限公司の設立

2011年6月、台湾の和駿工業股份有限公司（本社＝台湾・桃園県、呉清耀董事長）との合併で、昭和国際科技股份有限公司を設立しました。さらに、2011年8月より、ステンレス波状管の生産を開始しました。

工場は、台湾 桃周具に設立し、ステンレス波状管の生産能力は年間3万6000本（2交代制で7万2000本）です。台湾を始め、東南アジア諸国へのステンレス波状管の供給地点と位置付けています。

生産開始記念式典

2011年8月、生産開始記念式典を開催しました。日本からは東京水道サービス株式会社および日本水道協会の関係者の皆様、台湾からは台北自來水事業処、台湾自來水公司、中華民國自來水協会、和駿工業の関係者の皆様が出席されました。

国家標準規格の取得

2012年11月、当社のステンレス波状管が台湾の国際標準規格であるCNS（Chinese National Standards）を取得しました。認証にあたり、東京都水道局における長年の実績が高く評価されました。



当社社長の水上浩次（左）と呉清耀総経理（右）
（ステンレス波状管の製造設備の前で）



生産開始記念式典のテープカット

2. 事業内容と取扱製品の特徴

(5) 消火関連事業

高品質と施工しやすさとの両立

アクトSPN ～配管しやすいスプリンクラー配管～

ホテル、ショッピングセンター、高層マンションなどの集合施設には消火設備の設置が義務付けられています。その消火設備において、天井内の配管元と各フロアの天井にあるスプリンクラーヘッドを繋ぐのが、「アクトSPN」です。狭い天井内を分岐するため、スプリンクラー配管では限られた空間の有効活用がポイントです。従来型施工は職人芸に依存する部分が多かったのですが、アクトSPNを使用することにより配管しやすさが格段に向上しました。アクトSPNは、1992年の販売開始以来、消火設備メーカーや消火設備関連業者のお客様から信頼をいただいています。



製品の特徴1: オールフレキシブル

どの位置からでも簡単に手で曲げられる自在性が大きな特徴です。これにより、スピーディーで難易度の低い配管を実現しました。本体はステンレスSU316を用いており、耐久性・耐食性に優れています。

製品の特徴2: 異種金属腐食対策が施されている

鉄管とつなぐ際に腐食が起きやすいのがステンレス管フレキの不安材料です。しかし、ステンレス以外の金属との接触を想定しているアクトSPNは、継ぎ手内部に絶縁樹脂材を装着しており、腐食対策は万全です。取り付け後の腐食発生の心配はありません。

生産面の特徴: 自社による一貫生産

標準品のため、茨城工場の同一ラインで、パイプ部の製作から出荷まで、一貫生産されています。

茨城工場

茨城工場では、消火関連製品アクトSPNや水道用ステンレス波状管アクトパイプなどの一貫生産(加工、組立、出荷)を行っています。これらの規格品の量産設備の設計、加工、組立、メンテナンスまでを自社で行っているのが強みです。

工場概要

所在地	〒300-2512 茨城県常総市大輪町178
電話	0297-24-7821 (代)
F A X	0297-24-7825
アクセス	電車: 関東鉄道常総線三妻駅下車 タクシーにて10分 車: 常磐自動車道谷和原I. C. より20分
敷地	4,885 m ²
建物	3,279 m ²
従業員	44人 (2013年4月現在)
認証	ISO9001およびISO14001認証取得



主な設備

バルジ成型機、TIG溶接機、造管コルゲート機、拡管機、BA炉、漏れテスト機

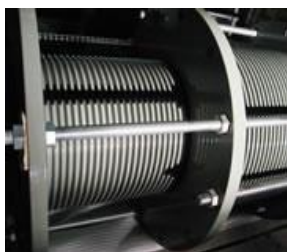
2. 事業内容と取扱製品の特徴

(6) 変電・プラント関連事業

変電・プラント設備の接続部を強力にフォロー

エキスパンションジョイント(EXP) ～変電機器の接続部を振動や温度変化、地震等から保護～

当社は、工場の変電設備やプラント設備など、スケールの大きな機器の接続部、配管まわりの製品を手掛けています。それがエキスパンションジョイント(EXP)とステンレス製外筒式伸縮可とう管の2製品です。このうち、EXPは、変電機器の接続部を振動や温度変化、地震等から保護します。



製品の特徴:溶接一体構造で気密性が高い

変電設備のジョイント部分は絶縁ガスが通る部分になっており、高い気密性が求められます。EXPは、独自製法により、全金属製で端管のないベローズ(蛇腹)を実現しています。これにより、高温、高圧など様々な条件での使用にも耐えうる気密性を実現しています。難易度の高い薄板の溶接、バルジ成型など、当社の精巧な技術が集約された製品です。

生産面の特徴:

変電・プラント関連製品は、個々の配管ラインに使用されるため、単品受注生産になります。重電メーカーなどから直接受注をいただき、浮間工場を受注生産しています。

浮間工場

浮間工場では、変電・プラント関連製品(EXP、外筒式伸縮可とう管)および水道関連製品(伸縮管、フレキ)の製造を行っています。これらの製品に加え、エンジン(船用、発電機用)の油清浄機の配管に使用されるステンレス製の一般フレキ製品などの製造も行っています。

工場概要

所在地	〒115-0051 東京都北区浮間5-3-3
電話	03-3966-2286(代)
F A X	03-3967-2085
アクセス	電車:JR埼京線北赤羽駅(浮間出口)下車徒歩10分
敷地	1,323 m ²
建物	1,840 m ²
従業員	45人(2013年4月現在)
認証	ISO9001およびISO14001認証取得
その他	日本水道協会指定検査工場



主な設備

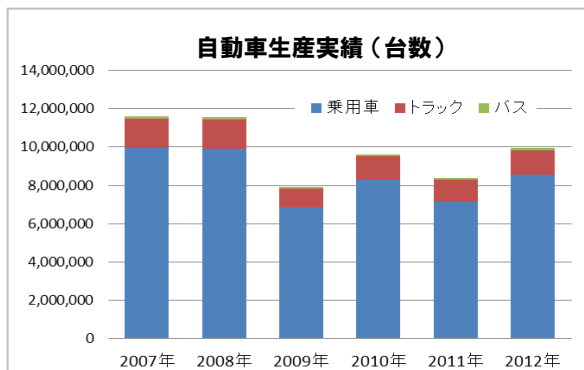
油圧成型機、ロール成型機、亜気圧ワンピッチ成型機

3. 業界分析

(1) 自動車関連事業の外部環境

自動車関連事業の主力製品であるEGRパイプやTUBE FLEXは、自動車メーカーの一次サプライヤー（国内）向けに販売しています。

一般社団法人 日本自動車工業会によりますと、国内の自動車の生産台数は、2009年以降、800～1000万台で推移しており、リーマン・ショック以前の生産台数(約1150万台)まで戻っておりません。



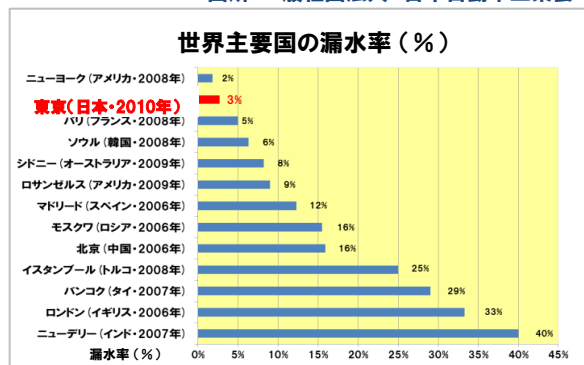
出所：一般社団法人 日本自動車工業会

(2) 水道関連事業の外部環境

水道関連事業の主力製品であるステンレス波状管は、水道配管に使用されています。

東京都水道局の「事業概要」によりますと、東京(3%)やソウル(6%)の漏水率は低いものの、北京(16%)、バンコク(29%)、ニューデリー(40%)などアジア新興国の漏水率はまだ高いことがわかります。

このことから、水道関連事業では、アジア新興国など、グローバルに事業機会が存在することがわかります。

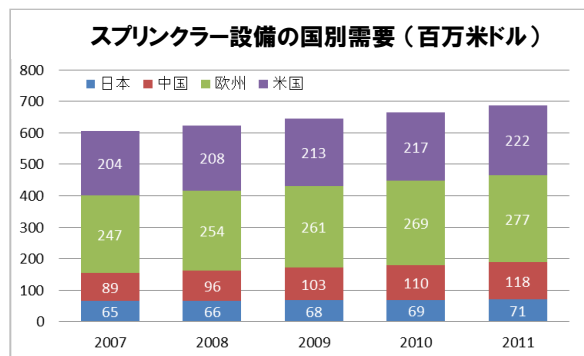


出所：東京都水道局

(3) 消火関連事業の外部環境

消火関連事業の主力製品であるアクトSPNは、ホテル、ショッピングセンター、高層マンションなどの集合施設の消火設備(スプリンクラー)に使用されます。

消防庁予防課「消防用機器等の国際動向への対応に関する調査検討事業に係る資料文献調査事業 最終報告書」(平成24年3月)によりますと、日本のスプリンクラー設備需要は年率1～3%で成長し、2011年には71百万米ドルとなり、世界の約7%を占めています。



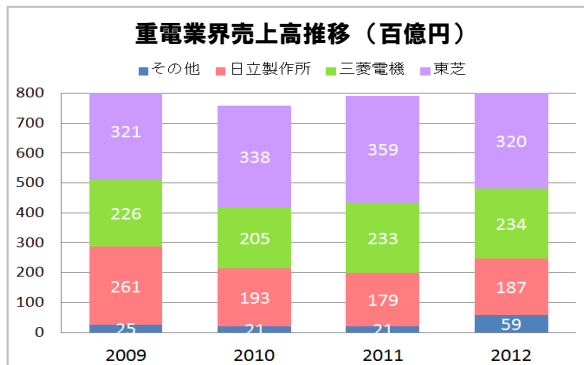
出所：消防庁予防課

(4) 変電・プラント関連事業の外部環境

変電・プラント関連事業の主力製品であるエキスパンションジョイント(EXP)などは、重電メーカーから受注し、製造販売しています。

主要重電6社の変電・プラント関連事業の業績推移は一端金融危機の影響で縮小したものの2012年度末頃から回復基調になり、今後国内需要は縮小するものの海外進出が加速されるものと予想されます。

このことから、変電・プラント関連事業をめぐる市場環境は成長基調にあるといえます。



4. ビジネスモデルと自社のこだわり

独自の技術力にこだわり、多岐にわたる事業分野において競争力のある製品群を生み出し、安定した収益性・安全性を実現しています。これが、当社のビジネスモデルです。

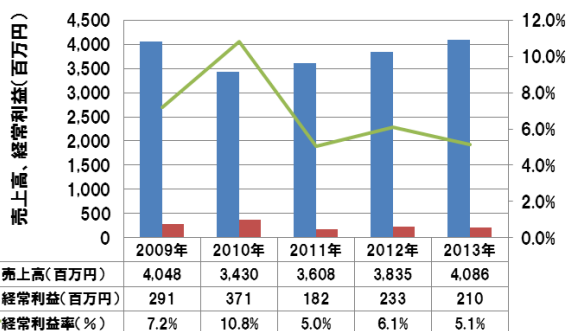
多岐にわたる事業分野と競争力のある製品群

自動車関連事業、水道関連事業、消火関連事業、変電・プラント関連事業など、多岐にわたる事業を展開しています。これらの事業それぞれのお客様から、長年にわたり、当社の様々な製品がご愛顧いただいています。

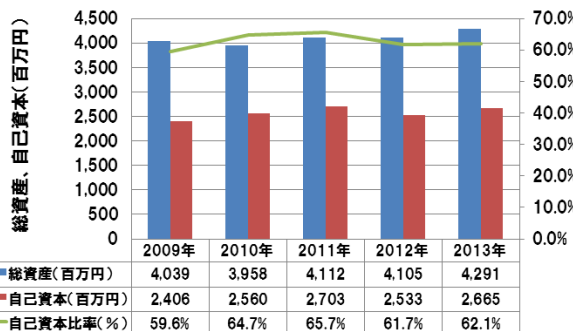
安定した収益性と安全性

特定の業界の好不況や特定の事業の好不調に会社全体の業績が左右されにくいという経営体質が、当社の特徴になっています。40億円前後の売上高と5%以上の売上高対経常利益率、40億円前後の総資産と60%前後の自己資本比率を維持し、収益性・安全性が安定しています。

【収益性】売上高、経常利益、経常利益率の推移



【安全性】総資産、自己資本、自己資本比率の推移



独自の技術力

コア技術 ～ペローズ(蛇腹)成型技術～

ペローズ(蛇腹)成型技術がコア技術です。バルジ成型金型の製造特許などを活用し、バルジ成型やベンダー加工などの技術を組み合わせて多様なペローズ製品を製作し、多様なお客様の多様な用途のためにご提供しています。

生産設備の自社開発、新工法の開発

生産設備の設計・加工・組立・メンテナンスまでを自社で手がけ、標準品・規格品の試作から量産に至るまで、品質をつくりこみ、ローコスト化を図ることができるのが当社の最大の強みです。シミュレーション技術を応用した生産設備、新工法の設計開発を行い、実現不可能と言われた難加工にも挑戦しています。



液圧バルジ



ロールフォーミング



ハイドロフォーミング



溶接加工

5. 将来に向けた事業展開(事業価値創造ストーリー)

(1) 経営ビジョン

2013年1月、2016年1月までの将来構想を、『GO! GO! Next Future!』にまとめました。

GO! GO! Next Future!

55周年、節目の年、新しい未来へ。

経営ビジョン

すべてにおいて顧客に価値を提供する『質でNo.1の経営』を追求し、
新しい未来への土台をつくる(人づくり・組織づくり・ブランドづくり)



5. 将来に向けた事業展開(事業価値創造ストーリー)

(1) 経営戦略

中期経営計画

■ **国内事業： 目標売上高 51億7千万円(2015年度)**

事業の選択と集中、新製品・新規事業の開発により、売上の拡大を図ります。

① **選択と集中**

有望な事業機会を選択し、経営資源の傾斜配分を行います。

② **新製品・新規事業の開発**

コア技術を活用し、他の技術と組み合わせることにより、新製品を開発し、既存製品を改良します。これらの製品を通じて、既存事業および新規事業のお客様のご要請やニーズにお応えします。

■ **海外事業： 目標売上高 3億3千万円(2015年度)**

和駿工業股份有限公司との提携関係、昭和国際科技股份有限公司の経営資源を最大限に活用します。

① **水道事業**

台北市に続き、台湾省および東南アジア(マレーシア、タイ、ブルネイ等)からの製品採用活動を進めます。昭和国際科技股份有限公司を生産拠点とし、台湾および東南アジア各国へ製品の供給を行います。

② **自動車事業**

台湾および中国等へ、自動車部品・自動車設備の提供を事業化します。

選択と集中、新製品・新規事業開発、海外展開による業容拡大

2013年

地域

	国内	海外
既存		
新規		

選択と集中
新製品開発
海外展開



新規事業開発

2015年

地域

	国内	海外
既存		
新規		

事業分野

事業分野

5. 将来に向けた事業展開(事業価値創造ストーリー)

(1) 自動車関連事業

事業価値創造ストーリー

コア技術を強みとして、国内外の事業機会を捉えていきます。

① 国内生産受注の確保

自動車部品の受注を確保するとともに、自動車部品以外への拡販を強化いたします。

② 海外生産の展開

設備対応力・生産品質管理力を向上し、拡大している北米や中国等の需要に対応いたします。

③ 技術力の強化

人材の技術力を高めることによりコア技術を極め、加工精度・難易度の高い製品への対応力、設備対応力・生産品質管理力を向上いたします。

(2) 水道関連事業

事業価値創造ストーリー

安心で安全な水を安定的に提供することにより、広く世界の環境の改善に貢献します。

① 製品優位性の訴求

各自治体に、高寿命、耐震性、低漏水率を実現する波状管の優位性を再認識していただけるように努力いたします。

② アジア各国に最適化された製品の提供

当社の技術を活かした台湾子会社の生産コスト面および流通面における優位性を有効活用し、アジア各国にとって最適な製品を生産し、供給いたします。

日本水道協会、東京都水道局をはじめ各自治体との公民連携により、アジア各国に事業展開いたします。

③ 国内への再展開

日本チームとして世界へ展開している異業種各社とのコミュニケーションにより、国内への事業再展開を図ります。

5. 将来に向けた事業展開(事業価値創造ストーリー)

(3) 消火関連事業

事業価値創造ストーリー

消火設備配管に関して、利便性を追求した製品供給を実現する国内トップメーカーを目指します。

① 生産・販売体制の構築

10万本/月の生産・販売体制を構築いたします。これにより、耐震性向上ニーズからの建築配管の見直し、防災ニーズからの消火設備導入事例の増加などの事業機会を捉えていきます。

② 高付加価値製品の創製

高性能・高品質で利便性、付加価値の高い製品の創製を続けます。

③ ビジネスパートナーとの提携

国内ビジネスパートナーとの関係性を強化するとともに、新規提携を実現し、国内販売網を構築いたします。

(4) 変電・プラント関連事業

事業価値創造ストーリー

顧客の夢をかなえ、質でNo.1のメーカーとなります。

① メーカーのニーズを捉えた開発

重電メーカー各社と協業することにより、メーカーのニーズをいち早く捉えて製品を開発いたします。

② 海外事業所の活用

顧客要求価格に対応するために、台湾子会社を活用いたします。

5. 将来に向けた事業展開(事業価値創造ストーリー)

(5) 新製品・新規事業開発

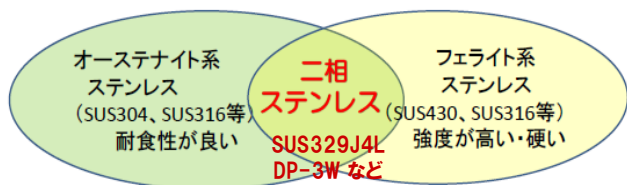
市場・技術のドメイン戦略 (右図参照)

基盤技術の熟成と新規技術の開発により、新製品の開発を行い、既存の事業分野(市場)および新規の事業分野(市場)へ、新製品を投入していきます。

主な新製品として、二相ステンレス製品、SDFフレキ、真空インジケータ、熱交換器などがあります。

二相ステンレス製品

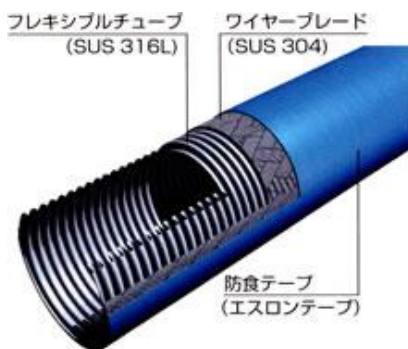
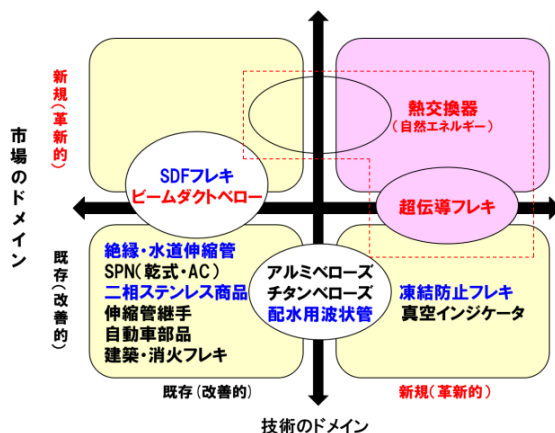
強度が高く、耐食性に優れる二相ステンレス製品の開発に成功しました。二相ステンレス製品の難加工性を克服し、オーステナイト系ステンレスの約2倍の強度を有し、高耐食性(耐海水性)に優れる二相ステンレスのペローズ(蛇腹)製品群です(右図参照)。



SDFフレキ (SDF工法用 内挿ステンレス・フレキ管)

当社は、SDF工法用 内装ステンレス・フレキ管を提供しています。都市部の交通量が多い国道、線路下の横断管、商店街の狭隘道路の埋設管等は、従来工法では管路の更新が困難でした。

SDF工法は、既設管路に90度に曲る管部が存在しても、その形状に追従して管内に引き込むことができるステンレス・フレキ管内挿工法のため、これまで管路更新を諦めていた箇所にも採用できるようになりました。



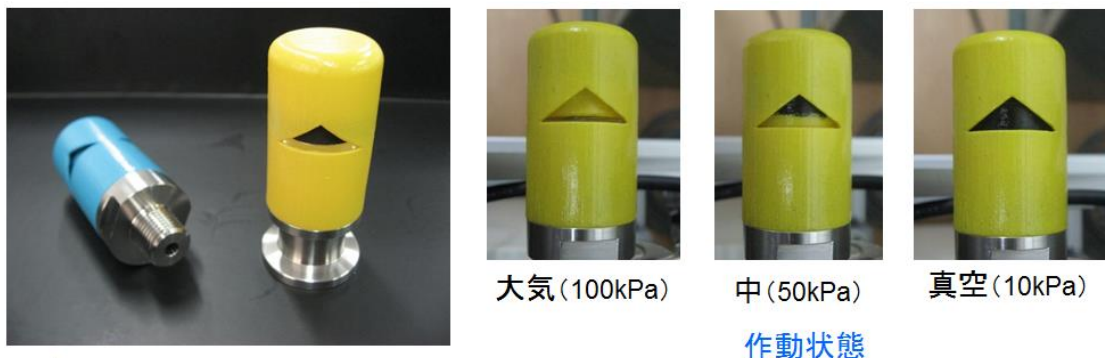
SDFフレキ(内装ステンレス・フレキ管)の特徴

1. 既設管の埋設角度を選びません
2. ステンレス鋼材使用で高耐久・高耐食性
3. フレキシブルチューブ構造により、高耐震性を実現
4. ブレード保護により、高耐圧性を実現
5. 防食テープを巻くことで、防汚性能向上
6. 外装にポリエチレンスリーブを巻くことで、摩擦低減及び傷を防止

5. 将来に向けた事業展開(事業価値創造ストーリー)

真空インジケータ

本製品は真空ポンプや、減圧下で使われる機器の減圧レベルを目視で確認できる真空インジケータです。見やすい表示窓によって圧力の状況が一目でわかります。



真空インジケータの特徴

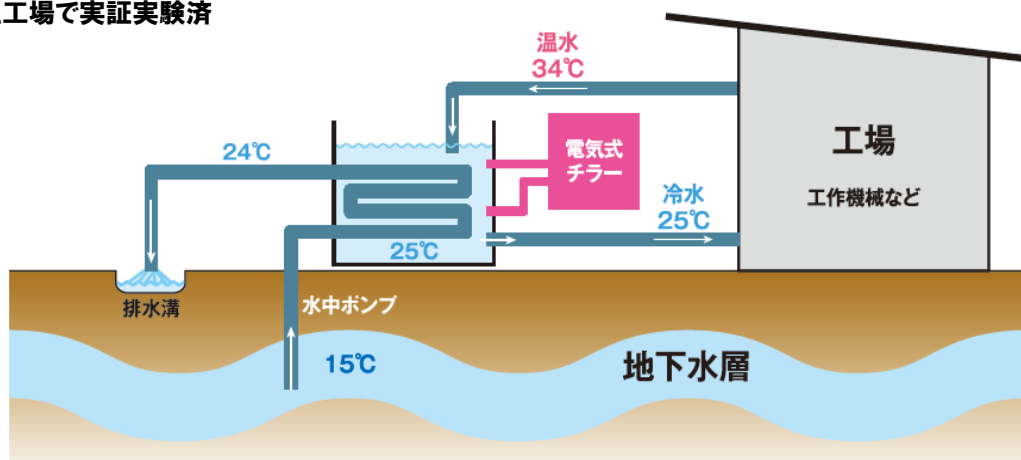
1. ベローズの伸縮量が圧力の変化と直線関係にある性質をインジケータに展開することにより実現した製品です。
2. 簡単な構造で、部品点数が少なく、電源を用いず、堅牢かつ長寿命です。
3. インジケータの周囲360度どこからでも監視が可能です。

熱交換器：地下水利用節電冷却システム

温水を冷たい井戸水で冷却することを特徴とした節電冷却システムです。コア技術であるベローズ(蛇腹)成型技術により 製造したコイル型フレキ管を熱交換器に応用しました。現在ご使用中の電気式チラーシステムとして配管するので、冷却機能の信頼性が高まると同時に、電気式チラーの稼働率を低く抑えることができるため、電気料金を節約することができます。

地下水利用節電冷却システムの特徴

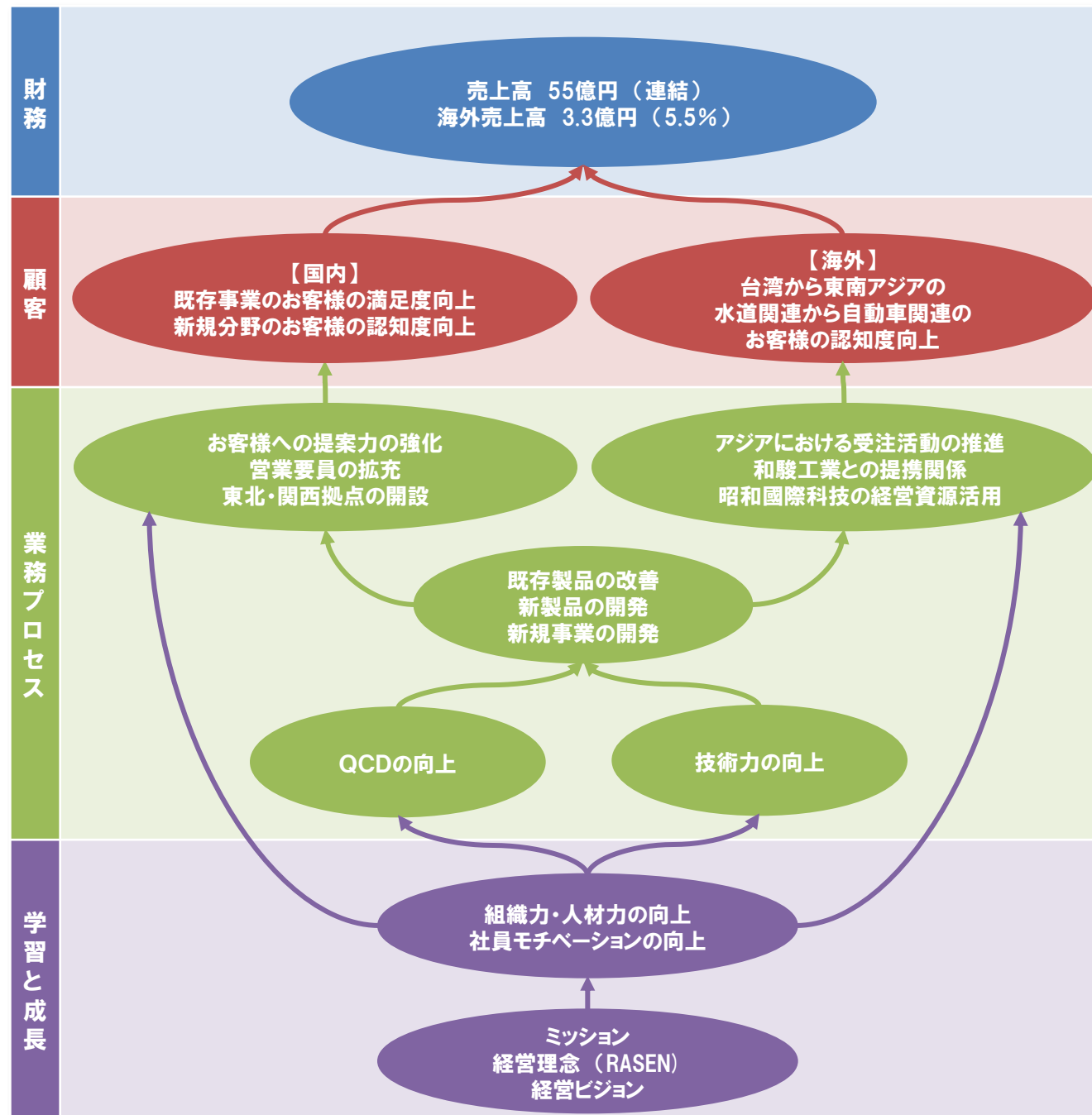
1. 小さな投資で大きな節電効果
2. 夏季に節電抑制効果絶大
3. 自社工場で実証実験済



5. 将来に向けた事業展開(事業価値創造ストーリー)

■ 事業価値創造ストーリー

人材を育成、組織力を強化し、SRSドリームを体現します。技術開発力を強化、QCDを向上し、ユニークな製品を創製し続けます。国内外の営業拠点を新設、営業要員を拡充し、お客様への提案力を強化します。それにより、国内外の既存・新規事業のお客様に認めていただける当社独自の価値をご提供しつづけます。



6. 人材育成方針

ミッション

わたしたちは、世界中の人々の笑顔イメージしながら、配管づくりを通じて、便利で安全に暮らせる社会をつくることに全力を尽くします。

基本理念

- 顧客本位
- 社会貢献
- 独自能力
- 社員重視

経営理念

ブレない「R・A・S・E・N」の志

- R** 利便性を追求する
- A** 安心・安全を確保する
- S** 誠実に行動する
- E** 縁の下の力持ちに徹する
- N** ぬくもりを大切にする



行動規範

- | | |
|---------------|----------------|
| ① 行動第一 | ⑥ 正直 |
| ② 自己責任 | ⑦ ルール遵守 |
| ③ プロ意識 | ⑧ 挨拶 |
| ④ フォア・ザ・カンパニー | ⑨ 思いやり |
| ⑤ 地球に愛を! | ⑩ 正しいコミュニケーション |



2013年の新入社員

6. 人材育成方針

先輩の声

商品開発



商品開発
入社2年目
高橋 直樹

●仕事内容

高品質製品の開発
最先端IT技術の導入・開発

●やりがいを感じる瞬間

『モノづくり』に興味があり、入社しました。
オリジナリティ溢れる製品を作りあげるとい
う、まさにクリエイティブな活動ができる点に、
日々やりがいを感じています。



技術



技術
入社2年目
室井 尚吾

●仕事内容

生産設備の設計・加工・組立・メンテナンス
(液圧バルジ・ロールフォーミング・
ハイドロフォーミング・溶接加工)

●やりがいを感じる瞬間

自分の提案で計画が実現にむけて動き出したとき
には、大きな仕事をやっているという充実感を味わ
えます。

製造



製造
入社2年目
加瀬 光

●仕事内容

プラント・変電関係伸縮管継手の製作
(ロール成形、組付け溶接、耐圧・気密試験)

●やりがいを感じる瞬間

一つひとつの製品が出来上がった瞬間です。
また、『モノ作り』を通して、仲間意識が深まります。

営業



営業
入社3年目
村上 遼

●仕事内容

建築・水道事業に使用されるステンレス
配管材の営業

●やりがいを感じる瞬間

日々の営業活動を通して、色々なお客様との関係を
構築することに自分自身の成長を実感しています。
お客様の要望を聞き、実現し、それがお客様の満足に
繋がった時には充実感が湧いてきます。

設計



設計
入社2年目
石井 希依

●仕事内容

伸縮管継ぎ手の設計・作図

SRSの製品が他社に比べ、
優位性を発揮できるように、努めています。

●やりがいを感じる瞬間

自分が設計したモノが製品として形になり、
社会に貢献できる点。
そのために、日々どんな設計依頼が来ても、
応えられるように、勉強は欠かせません。

問い合わせ

管理本部 山本正美 連絡先 03-3967-5751(代) yamamoto@showarasen.co.jp

レポート作成支援者: 中小企業診断士 竹村一太 takemura.kazuta@jcom.home.ne.jp



株式会社 昭和螺旋管製作所

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢2-26-10
TEL: 03-3967 - 5751 (代)

便利と安心のフレキシブル・カンパニー